

5月2日

第7便報告

5月2日、1日目月曜日の活動報告をさせていただきます。

朝10時に無事青森IC前のエネオスにて札幌チームと函館チームが合流し、東北自動車道を走りました。花輪SAにて予定通り休憩と昼食をとり久慈を目指し出発。その後無事、久慈にあるアレン記念教会に到着しました。そしてその後、明日配達する予定の物資を調達し、そして一人ずつに手渡ししていけるよう、個別の袋に分け明日に備えました。またチーム全体でのミーティングをもちこれからの流れを確認し備えるときを持ちました。

アレン記念教会は電気も水もあり、暖かく泊まることのできる環境が与えられていて感謝です。また今日の道中や、作業がひとつひとつ無事進められ、メンバーの体調も守られ感謝でした。

明日から、炊き出しや配達側溝掃除などの本格的な作業が始まります。被災された方々の手となり、足となり助け、私たちの作業を通して少しでも彼らの慰めとなることができるようにお祈りください。



5月3日

5月3日、2日目火曜日の報告をさせていただきます。

今日は宮古市田老町にて作業をするため、朝に出発し一日田老にて町の支援をさせていただきました。炊き出し班、作業班、配給調査班に分かれ、それぞれの作業を行いました。

炊き出し班では岩手の教会のチームの元でともに田老町に食事を提供しました。また作業班では津波によって流されたゴミを回収したり、泥で詰まってしまった側溝を掃除したりしました。配給調査班では昨日つめたフルーツや野菜などの物資を地域の方々に一軒づつ回りながら配給し、またそのところで必要な物資について調査しつつ回りました。

また午後3時すぎにはアレン記念教会のほうへの帰り道につき、その後翌日のコロッケ弁当の炊き出しの準備の作業を行いました。

今日の作業が一日すべて無事に終わられたこと感謝でした。

明日は上閉伊郡大槌町へ向かい、炊き出しとお家の片付けなどの作業をする予定です。

明日は今日とは違う地域にまた向かいます。

明日も私たちが神様の愛をもって、本当に何よりも被災された方々の助けとなり、慰めとなることができるように神様が用いて下さるようにお祈りください。





5月4日

3日目水曜日の報告をさせていただきます。

今日は朝の7時に出て、3時間程南下し、上閉伊郡にある大槌町へ向かいました。そこでは予定通りに炊き出しとお家の片付けなどの作業をすることができました。大槌町の多くの地域は津波による被害で家を流されてしまったり、全壊していました。今日、作業を行った地域は大槌町の桜木という地域で、その地域は1階から2階まで浸水してしまった地域でした。

今回は桜木にあるボランティアセンターにて、そこに集められたボランティアの依頼に応じていく作業チームと地域の商店を借りて行う炊き出しチームの二手に分かれ、ボランティアを行いました。

依頼に応えるチームは一軒家の家具の撤去や泥はきを行いました。依頼主に会うことは出来ませんでしたが、その家の片付け作業を無事に怪我や事故なく終えることができました。

しかしその後、悪天候に見回れ、次の依頼の作業に移ることは出来ませんでした。一方炊き出しチームでは、130人分のコロッケ弁当をつくり、お借りした商店から炊き出しをし、桜木の地域の方々に食べていただくことができました。その後雨のため、予定を変更しみんなで炊き出しをした商店に集まり、その商店の片付け及び掃除を行いました。そしてその後、その商店の店主の方の腰の痛みのためにみなで心を合わせて祈りました。

今日の一日の作業は天候に左右されて予想しないことが起きましたが、すべての作業が無事に済み終わられたことはとても感謝でした。

明日は帰路につく日ですが、函館班は午前中、札幌班はお昼すぎまで野田村のほうでボランティアセンター経由の作業をさせていただき予定です。

最後まで神様の愛に満たされて、神様の愛のうちに被災された方々の助けとなり慰めとなるよう用いられるよう、またこの報告で紹介されている被災された地域の方々のために覚えてお祈りください。



5月5日

4日目木曜日の報告をさせていただきます。

今日は午前中、宿泊させてもらっていたアレン記念教会の掃除をしました。

お昼には、函館組のフェリーの時間のためにお別れをし、札幌組は野田村にて作業をお昼から行い、3時まで作業を行いました。

今回は全壊して流された家屋の跡地に残っていた瓦礫を集めて片付ける作業にあたりました。

無事怪我なく、作業を終えその後青森まで向かい無事みんなでフェリーに乗ることができました。

各チームの帰路が守られるようにお祈りくだされば感謝です。

